

経営比較分析表

高知県 土佐町

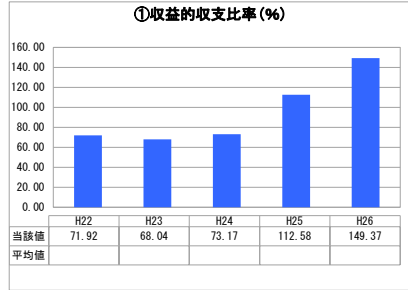
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	13.45	100.00	2,762

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,109	212.13	19.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
552	210.74	2.62

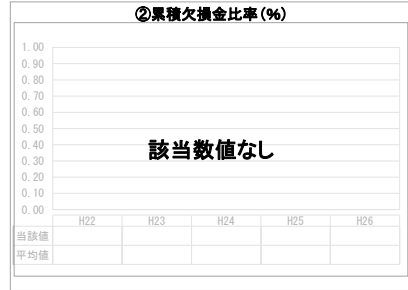
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



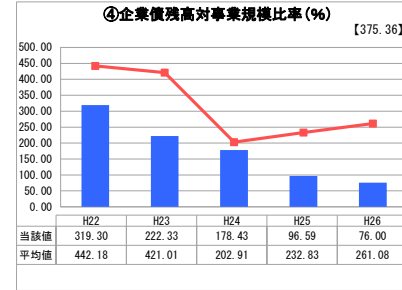
「単年度の収支」



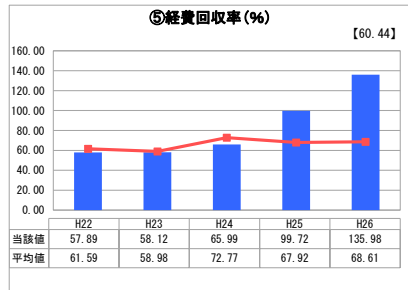
「累積欠損」



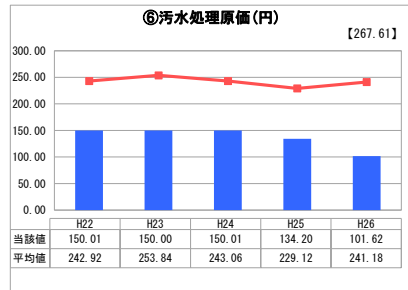
「支払能力」



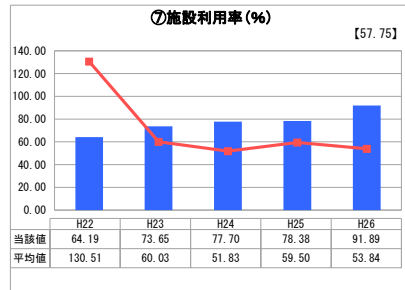
「債務残高」



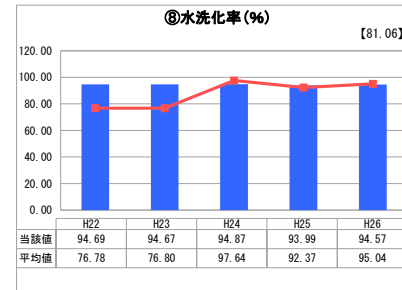
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

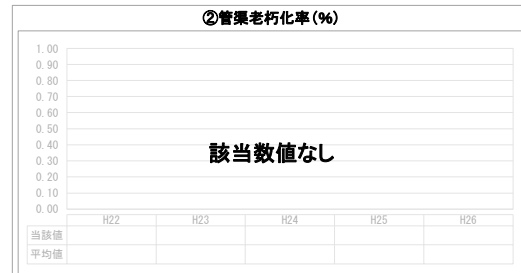


「使用料対象の捕捉」

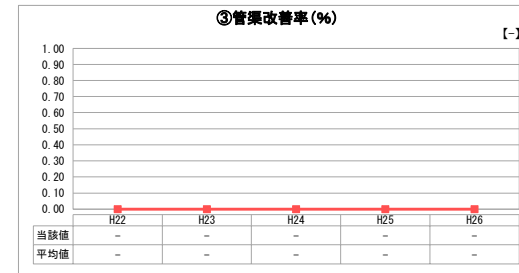
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

「①収益的収支比率」は右肩上がりであり、一般会計繰入金率が少しではあるが改善されている。

「⑤経費回収率」は、汚水処理費増加率を使用料収入増加率が上回っているため、一般会計繰入金率が減少している。

「⑥汚水処理原価」は、減少傾向であり、今後も継続できるように努めていきたい。

「⑧水洗化率」は、近年大きな変化がなく、類似団体とも大きな差は見られないが、今後も水洗化率向上が必須である。

包括委託(水道・下水道)による維持管理の実施等により、経費の削減に努めている。また、町設置型の大型浄化槽の設置により料金収入が増加しており、H26決算値では経営が少し改善している。

2. 老朽化の状況について

浄化槽の設置年数に開きがあり、個々の老朽化に計画的に対応していかなければならない。

全体総括

収益的収支比率増加、汚水処理原価減少のため、現在は料金改定の必要がないと考える。H26年に町設置による大型浄化槽により料金収入が増加したが、使用料金の滞納があるため、滞納率の減少に努めていかなければならない。また、水洗化率向上に努めなければならないが、人口減少のため、急激な増加は見込めない。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。